

6 年生の成績下位層に対する学習支援の試み

薬学部 石嶋康史

薬剤師国家試験に向けて、6 年生を対象として様々な対策が施されているが、最終的に学力不足で卒業不認定になる学生や卒業しても国家試験で不合格となる学生が毎年一定数生じている。そのような学生を少しでも減少させるために成績が伸び悩んでいる学生に対して学習支援を強化することが重要と考え、学力の底上げを図ることができるように 2020 年度から e-ラーニングシステムを活用して 6 年生の成績下位層に対する学習支援を水面下で試みてきた。内容としては、6 年次初めの ZERO 模試やスタートアップ模試の成績を参考にして、その時点で国家試験合格が心配と思われる学生を選択し、7 月頃まで週に 2 回程度、課題として ESS により国家試験の既出問題を継続的に出題して学習させた。同時に出題予告や結果連絡、助言などを週に 4 回程度、対象者に SUMS-PO や A-Portal で連絡した。本取り組みの対象者の実施状況と国家試験合格率の関連などについて年度毎に比較分析を試みた。